

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)9223
担当部課名	都市部	市街地整備	再開発	班
事務事業名	淵野辺駅南北自由通路拡幅整備事業		事業コード	34110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	広域交流都市を形成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	魅力ある広域交通拠点の整備	13
施策名	第1施策	活気ある中心市街地の整備	年度

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
淵野辺駅北口周辺地区については、交通混雑の解消、商店街の活性化、駅利用者の増大や文化教育施設の立地(桜美林学園、青山学院の進出)への対応等を図るため、淵野辺駅南北自由通路の整備を行う。		淵野辺駅南北自由通路利用者	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
通路：4m 10.5m 設備：ES2基(上下) 工事期間：平成13年10月15日～平成15年3月末日 債務負担行為 総事業費656,429千円 13年度 0千円 14年度656,429千円			
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	進捗率		
指標式	当該年度出来高金額/契約金額		
指標設定の意図	乗降客の増加及びまちづくりの進展に伴う歩行者の増加に対応するため、南北自由通路の竣工が重要となる。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	0.0	b	
指標			c		d	
指標			e		f	
事業費	決算(予算)額		0	77,400	656,429	
	人員・時間数		2人	2人	2人	
	人件費		1,684	1,684	1,684	
	その他経費					
	合計	0	0	1,684	79,084	658,113
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = #####
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = \text{\#VALUE!}$ 11.8	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	----------------------------	----------------------------

理由： 工事は、JR東日本に委託しているが、所要の出来高が確保されないため、請求・支払がない。(工場製作等は行われている。)

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 公共交通機関との結節機能の強化を図ることにより、移動に関する適正な機関分担に資することができる。また、エスカレーターを整備し、バリアフリー化を実現している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 費用便益分析の結果、費用：便益比が20.5であった。(淵野辺地区拠点整備事業)
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 駅勢圏のほとんどが市内であること、公共施設整備であり従前から市有財産であったところを拡大・拡張整備することから、市が事業主体となるものである。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 計画は、初期の段階から自治会の代表者、商店街代表者等市民の方々と策定しており、意見等を反映している。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 駅利用者の増大に対応するため、また、活気ある中心市街地の整備を図る上で、有効であると考え。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>乗降客等の増加に対応する整備内容とする。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>コスト削減に努めた設計をしている。</p>

7 総合評価

評価 AA ▼	他自治体の類似事業との比較	本事業は、増大する駅前地区の利用者に対応するものであり、事業の実施が急務となっている。 こうした中で、限られた土地を有効に活用しつつ、交通結節点としてバリアフリー化を図るなど、利便性・安全性・快適性に配慮した施設としている。 また、本事業を契機とした、民間開発の機運の高まりが期待できるなど、様々な効果が期待できる。

8 二次評価における変更点

--